



島根の地域医療

今回の紙面

- ◆地域医療最前線 NO. 25 《西村新吉》
- ◆看護師さんのページ NO. 5 《天川明美》
- ◆研修医のページ NO. 10 《高橋知男》
- ◆高校生医療現場体験セミナー
- ◆医学生医療現場体験セミナー
- ◆島根県からのお知らせなど



NO.25



出雲市医師会 西村新吉



四月初旬、唐

突な感じで、『浦郷診療所で代診する気はない？』と訪ねられ、その時は冗談と思っていたが、帰宅すると妻から『大田先生と木村先生から何か話が出なかった？』と聞かれ、あれは真面目な相談だったのかと、翌日承諾した。

これまで三〇年間、気心の知れた患者さんと接してきたのに、島ではすべてが初めての患者さんというのが少し気がかりだが何とかなると自分に言い聞かせているところへ、三日後、木村清志先生から「TEL」があり、実は浦郷診療所は電子カルテだという。大げさに言うと、血の気が引いた。中村嗣先生に連れられて掛合診療所まで行って実技。先生の『もう大丈夫ですよ、お茶にしましょうか？』の言葉でその

気になって帰路に着いた。夜、寢床に入って思い出そうとしたが何を教わったか全く思い出せない。自分には電子カルテはともじやないが無理。そうは言っても今更断れないし、その後、三回掛合診療所にお邪魔した。木村先生と自分とは兄弟の盃を交わした仲なので、まさかだますつもりがあったとは思えないが、どう見ても「あとだしジャンケン」だと愚痴が出た。それほど自信がなかった。

いよいよ六月二十六日から西ノ島町の勤務が始まった。

さて、私の仕事は、月曜日と木曜日は島前病院で、火水金は浦郷診療所です。島前病院の診療は朝八時二十分の朝礼から始まります。院長以下各部門のスタッフが一堂に会して各自、担当部のスケジュールや問題点を報告します。『今日は知夫診療所に出かけます。』とか『午後から老健に往診します。』とかです。院長からも必ず何らかのコメントをいただきます。自分は内科二診の担当を割り当てられました。四十年ぶりの白癩症のピルツの採取があったり、肺がん検診で左中肺野に肺がんを疑わせる Konlesion を認め、CT 検査を依頼したところ若手医師の石橋先生が自身で操作して異常なしと診断する場面にも遭遇し、何と、りりしい若武者よと感動したりで初日から刺激の多

い代診であった。帰宅すると妻が『どうだった？』と聞くので、『みんなよくやるよ。』と答えたがこの時すでに自分の中では明日の浦診の電子カルテが頭の中を占拠していました。

この夜は寝つきが悪く夜半にも目がさめた、年はとりたくないものだ。悶々としているうちに、早い朝を迎えた。少し早いかと思ったが、意気込みだけは買っていた。だこうと公用車を飛ばして八時前に浦郷診療所に到着。ウロウロしていると役場の女性が声をかけてくれた。『西村先生ですね？』知らない土地で名前を呼ばれるのはうれしい。直ぐにスタッフに連絡するという。迷惑をかけてしまった。きのうから感じていたことだが隠岐の女性は働き者でそして優しい。このあと何度もそれを感じることとなる。

ついに電子カルテが始まった。やるしかない肝は据わったが、パニックだった。汗びっしょりになり、橋詰看護師に『メガネが曇って君の顔がよく見えないよ。』と言ったが彼女はとても落ちついていて、『初めてにしては上手ですよ、うまくいっています。』という。大空看護師もニコニコしている。これまでにエミール・クーエの実践だ。お陰で午後にはすっかり落ち着いた。隠岐の女性はすぐく優しいのです。

本土に帰る日、『今度はいつ来てくれ

ます?』と聞かれたが、『未定です。』と云うと、『絶対に来て欲しい。』と言われた。心の中で、『絶対に来る来る。』とつぶやいていました。

たった五日間だったが、スタッフからはすごいエネルギーをいただいたし、久しぶりに女性との暖かいふれあいも感じて充実した代診経験であった。

▼あれから十ヶ月が経ちました。

西ノ島での生活パターンも大分身につけて、不安や不満を感じることも少なくなり、むしろ島での生活を楽しむ余裕も出てきました。十ヶ月前、妻から、『皆さんの迷惑にならないように頑張つてね。』と云われたが多くのスタッフに助けられて大過なく務めることができたと思う。今回の代診によって、人生で会えなかったであろう多くの方々に出会って、いろいろと教えていただき、新たな喜びや楽しみを経験し、充実した日々を持つことができた。

離島での診療に精魂傾けておられる皆さんを知るにつけ、このまま島を去るのはなんだか淋しい気がして、四月からは知夫里島でわずかながらのお手伝いをさせていただきたいと考えている。

看護師さんのページ NO.5

独立行政法人国立病院機構浜田医療センター

病棟師長 天川 明美

浜田医療センターは、救命救急センター十床を有し、島根県西部地域では中核拠点病院の役割を担っている施設です。地域の皆様からの支援を受けて平成二十一年には新病院を開設する予定です。新病院は地域の患者様が出雲や広島方面の遠方に行かれなくても、当院での治療で完結できるよう質の高い医療を提供できることを目指して準備しています。

さて、ここで私の勤務している職場を紹介させていただきます。スタッフは師長一名、助産師八名、看護師十一名、助手一名の計二十一名で構成しています。

医師は、産婦人科医二名、小児科医二名、病棟は産科・婦人科・小児科・内科の患者様を受け入れています。特に産科・小児科は二十四時間ダイヤレクトに入院を受ける状況で一瞬一瞬が重要になることが多くあります。ひとつひとつの機会を大切にして関わること

をスタッフのモットーとして日々援助を実践しています。

患者様への満足度アップのためクリティカルパスの充実には積極的に取り組み、院内・院外に発表もしています。入院された方からは「経過がよくわかり安心しました」などの言葉もいただいています。

妊産婦の方への援助では、産科・小児科医師との周産期カンファレンスを通して、安全な分娩への介助と、産後は健やかな育児へ向けての支援など助産師を中心にして取り組んでいます。しかし、憂慮することとして今、病棟の助産師に世代交代の時期が重なり二名減と今後当分少ない人数での対応を迫られていることです。十八年の分娩数は三〇三件でした。近いうち市中の医院が分娩取り扱いを中止されると聞いています。当院での分娩件数が増加する模様です。お母様方が、安心して出産ができるように、病棟が一致団結し取り組みたいと思っていますが、ぜひ、医師・助産師の確保を望むところです。

研修医のページ NO.10

島根大学医学部附属病院

二次研修医

高橋 知男



二年次研修医の高橋知男と申します。今年の四月からは四人の同期と共に小児科に入局し、上級医に叱咤激励されながら日々頑張るつもりです。

「この二年間あつという間だった」というのが最初に浮かんできてくる感想でしょうか。

私は初期臨床研修を二つの病院で行い、それぞれで貴重な体験をすることが出来ました。

一年目の島根県立中央病院では、感冒や創傷といった軽症疾患から心筋梗塞やCPAとつった第二次救急まで様々な疾患を診ることができ、特に救急外来では多くの経験を積むことが出来ました。

二年目は島根大学附属病院で研修し希少な疾患や重症例を通して、より専門的な医療に携わることができました。

がんばれ!西村先生



軽症例に関しても、症例検討会や抄読会を介して疾患に対してより深い理解をもって接することができました。また5月には、当院の初期臨床研修システムの特徴である **WVAMI** プログラムに参加し、シアトルのワシントン大学で研修する機会を頂き、日本と米国の医療の違いを肌で感じました。

加えて、引率して下さった上級医が救急病棟に入院するアクセシブリティもあり、幸か不幸かアメリカの医療をリアルに体感することもできました。(その先生は短期間で退院することが出来ました。)

私が当院の小児科を後期研修に選んだのは、専門性の高さに惹かれたこと、また全国的な小児科医不足の解決に微力ながらも貢献できればと考えたからです。当院の小児科の先生方は、子供達と同じ目線に立ち一緒になって治療しており、医局全体が一丸となって難病に立ち向かっています。

みなさんも私たちと一緒に、子供に元気な笑顔をプレゼントしませんか。

島根の高校生

医療の「最前線」に触れる

医師を目指す高校生を一人でも増やそうと、三月二十九日(木) 県立中央病

院(出雲市)で高校生医療現場体験セミナーを開催しました。このセミナーは平成十八年度から開始した事業で、昨年八月に浜田医療センターと県立中央病院で開催し、今回で三回目となりました。

今回参加された方の高校は、隠岐高校、松江北高校、松江南高校、開星高校、出雲高校、三刀屋高校、大田高校、矢上高校、浜田高校、益田高校であり前回よりも一校多い十校から二十名の参加を得ました。

研修内容は、ヘリポート、救命救急センター、放射線画像読影室での実習をはじめ、電子カルテシステム、手術室・手洗い実習・手術ビデオ閲覧、NICU、病理、薬剤局など実際に手で触れることのできる体験型の研修や普段簡単に入ることのできない場所の見学もでき、高校生は生の医療現場に大変感激し、医師の仕事について理解を深めました。



救命救急部で人工呼吸、心臓マッサージ及びAEDを使った心肺蘇生法を学ぶ様子

編集部から

★ このセミナーは、県立中央病院の平田副院長先生(平成十九年四月就任)が中心となって研修メニューを準備され、現場体験とともに、三人の医師から有意義な話を聴くことができるなど充実した内容でした。

平田先生をはじめ熱心に指導をしていただいた先生方、たいへんありがとうございました。

【医療対策課 口羽】

春季

医学生地域医療実習

医学生に離島や中山間地の医療を肌で実感してもらうため、春休みを利用して医学生地域医療実習を開催しました。

雲南、大田、益田、隠岐(島後、島

前)の各圏域の計五箇所、島根大学、自治医科大学の一、二年生十二名が参加し、地域医療についての理解を深めました。平成十四年から始めた地域医療実習も今回で延べ二百人の医学生に参加していただきました。この実習は、受入先病院の医師、看護師、コメディカルの方々の熱いご指導のおかげもあり、医学生には大変好評を得ています。

● 雲南地区



▼医師の診察を見学している医学生

● 益田地区



▼はじめての血圧測定。(目盛りをよく見てやりましょう。)

● 雲南地区



▼診察の様子を見学し、病状等の説明を受けているところ

県のドクターバンクから

●求人・求職取扱状況

(平成19年3月1日現在)

<求人> 27件

邑智郡(病院)／整形外科、精神科

浜田市(病院)／内科

出雲市(診療所)／胃腸科、肛門科

邑智郡(病院)／内科、整形外科、在宅医療

鹿足郡(病院)／内科、外科

仁多郡(診療所)／内科

浜田市(診療所)／内科

鹿足郡(病院)／放射線科、内科、麻酔科

益田市(病院)／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科

松江市(病院)／内科、麻酔科

浜田市(病院)／内科、放射線科

江津市(病院)／精神科

仁多郡(病院)／眼科、内科

松江市(その他)／不問

松江市(病院)／内科、リハビリテーション

出雲市(病院)／内科

浜田市(その他)／内科

鹿足郡(病院)／整形外科、内科、リハビリテーション

松江市(病院)／内科、整形外科

邑智郡(病院)／内科、整形外科、産婦人科、放射線科

松江市(その他)／不問

雲南市(病院)／麻酔科、精神科、内科、循環器内科、皮膚科

大田市(病院)／精神科、内科

大田市(診療所)／内科

雲南市(病院)／神経内科、腎臓(循環器)、外科

益田市(病院)精神科

安来市(病院)内科

<求職> 1件

内科

●申し込み手続き及び詳細につきましては、当紹介所までお問い合わせ下さい。

[電話番号]0852-21-8813(専用電話)

[ホームページアドレス]

<http://www.shimane.med.or.jp>

/dcbank.htm 【担当:塩田・嘉本】

島根の地域医療視察ツアー

参加者募集

島根県では、将来県内で勤務を考えておられる医師やそのご家族を対象に地域医療の視察ツアーを開催しています。自然を余すことなく満喫できる島根の地で、実際にその目で町の雰囲気や病院、診療所を見てください。

日程や視察コースは、ご希望に応じてお選びいただけますのでお気軽にご連絡ください。

○対象

◆将来島根県での勤務を考えておられる県外の医師及びそのご家族。

○ツアーの費用

◆県の規程に基づき、原則2泊3日分(2名分)の旅費を県が負担します。

○申込方法など

◆参加希望の方は、お気軽に医療対策課医師確保対策室までご連絡ください。

※E メールでの申し込みは島根県ホームページに「参加申請書」を載せていますので、ご利用ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryota/isaku/>

島根県で勤務したい方へ

島根県では、県内で勤務していただける医師を探しています。全国どこへでも専任の担当者が出張し、電話やメールでは相談しにくい、細やかな相談にも応じます。

お気軽に医師確保対策室までご連絡ください。

また、友人・知人に島根県での勤務を希望される医師がおられましたら、同意を得た上でご紹介ください。

ご紹介いただいた医師へは、医療機関の情報等を提供し、県内での勤務を支援します。

連絡待っています。



『赤ひげバンク』の登録者のみなさんへ

住所等に変更があった場合は、メール又は同封した赤ひげバンク変更登録票でお知らせいただくと助かります。

初期・後期臨床研修ガイダンス開催

医師の県内定着を図るため医学生、研修医を対象に平成19年3月21日(祝)、ウェルシティ島根(出雲市)において初期・後期臨床研修ガイダンスを開催しました。



◆各病院による個別面接



◆各研修指定病院の担当者からの研修プログラムの説明

島根県医療対策課 医師確保対策室の連絡先

〒690-8501 松江市殿町1番地
E-mail: iryota@pref.shimane.lg.jp
TEL: 0852-22-6684
FAX: 0852-22-6040
ホームページ[島根の医療]
<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryuotaisaku/>

